

小菅村の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

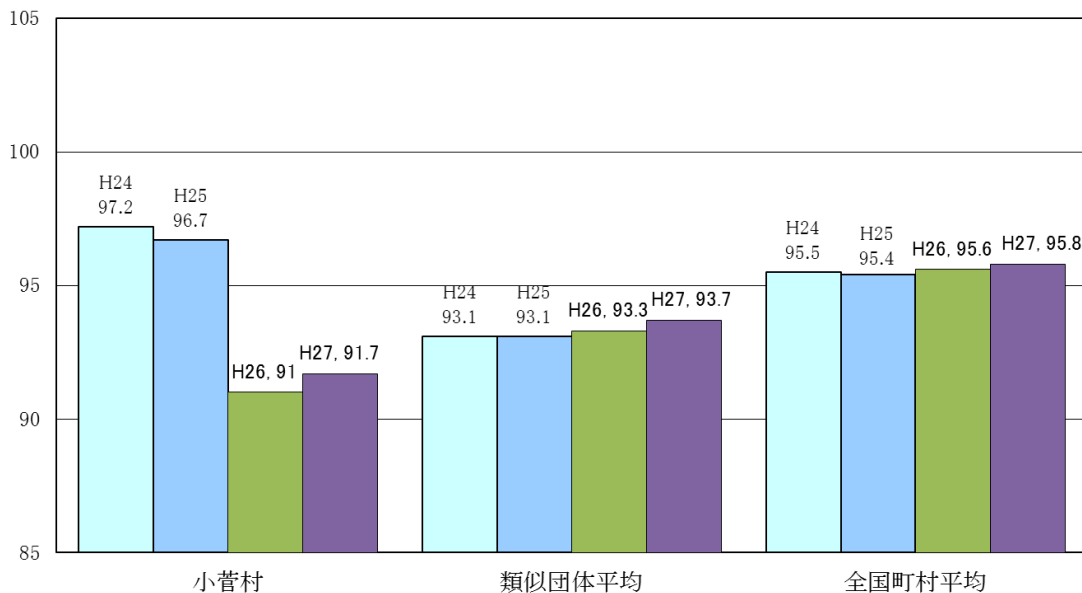
| 区 分 | 住民基本台帳人口 (26年1月1日) | 歳 出 額 A | 実質収支 | 人 件 費 B | 人件費率 B / A | (参考) 25年度の人件費率 |
|------|-----------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|
| 26年度 | 7 3 9 人 | 2,085,248 千円 | 238,166 千円 | 161,776 千円 | 7.76 % | 10.80 % |

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

| 区 分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | (参考)一人当たり 給与費 B / A |
|------|----------|--------------|-------------|--------------|--------------|---------------------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | |
| 26年度 | 17 人 | 57,697 千円 | 7,725 千円 | 20,395 千円 | 85,817 千円 | 5,048 千円 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、26年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 平成24年及び平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

(4) 給与改定の状況

①月例給

| 区 分 | 人事委員会の勧告 | | | | 給与改定率 | (参考) 国の改定率 |
|------|--------------|--------------|--------------------|-------------|-----------|---------------|
| | 民間給与 A | 公務員給与 B | 較差 A - B | 勧告 (改定率) | | |
| 27年度 | 384,958 円 | 383,371 円 | 1,587 円 (0.41%) | 0.36 % | 0.36 % | 0.36 % |

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパ
イレス比較した平均給与月額である。

②特別給(期末・勤勉手当)

| 区 分 | 人事委員会の勧告 | | | | 年間支給月数 | (参考) 国の年間 支給月数 |
|------|---------------|----------------|-------------|--------------|-----------|----------------------|
| | 民間の支給 割合 A | 公務員の 支給月数 B | 較差 A - B | 勧告 (改定月数) | | |
| 27年度 | 4.18 月 | 4.10 月 | 0.08 月 | 4.20 月 | 4.20 月 | 4.20 月 |

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の
支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手
当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施
の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期)平成27年4月1日

(内容)一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。
激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

②地域手当の見直し(※本村では地域手当の支給は無し)

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(6)特記事項

なし

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（H27年4月1日現在）

① 一般行政職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|-------|-----------|-----------|--------------------|
| 小菅村 | 39.0歳 | 253,411 円 | 284,891 円 | 269,891 円 |
| 山梨県 | 43.3歳 | 333,258 円 | 419,584 円 | 374,044 円 |
| 国 | 43.5歳 | 334,283 円 | — | 408,996 円 |
| 類似団体 | 41.7歳 | 298,502 円 | 348,728 円 | 324,582 円 |

注) 1 「平均給料月額」とは、28年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（平成27年4月1日現在）

| 区 分 | 小 菅 村 | 山 梨 県 | 国 | |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 180,800 円 | 180,800 円 | 174,200 円 |
| | 高校卒 | 146,500 円 | 146,500 円 | 142,100 円 |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成27年4月1日現在）

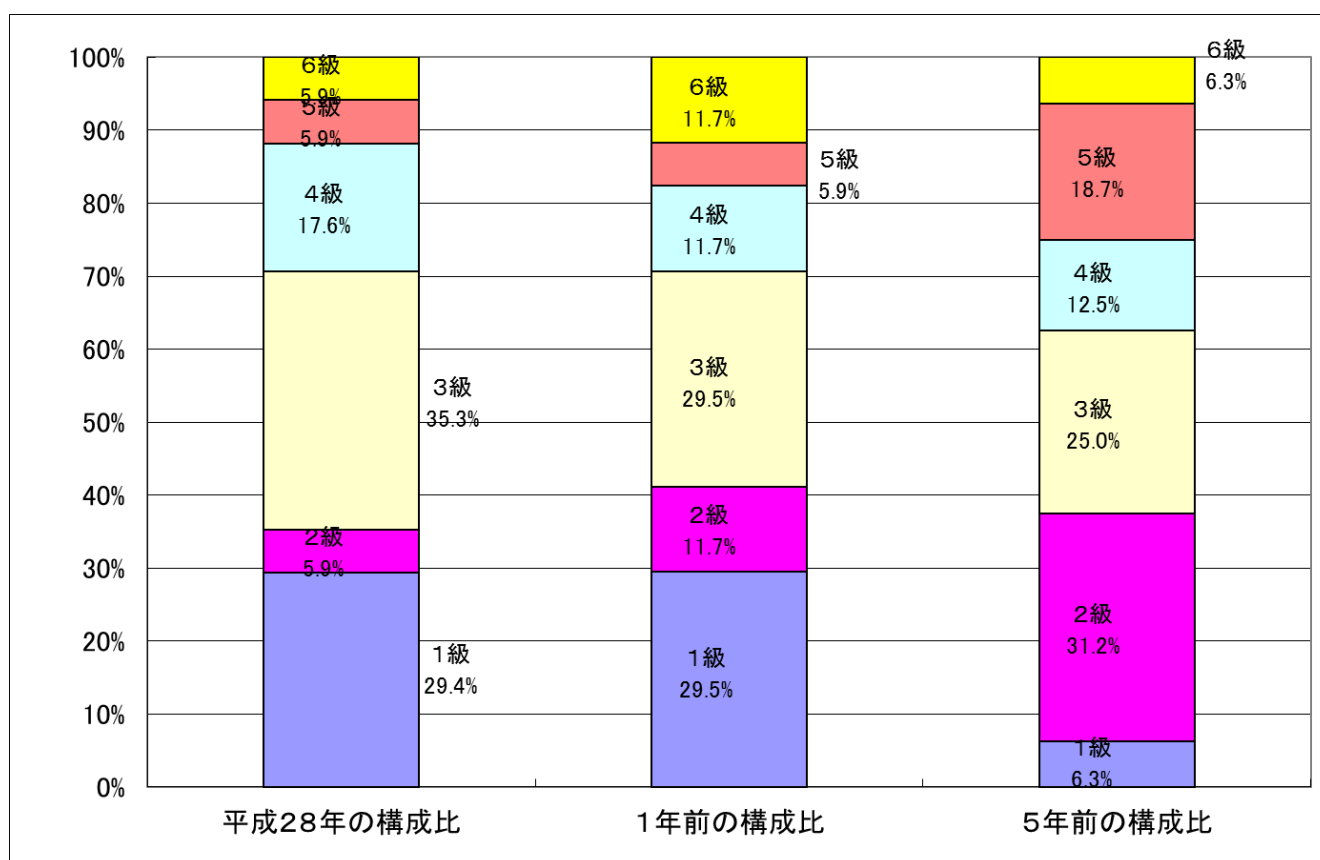
| 区 分 | 経験年数10年 | 経験年数20年 | 経験年数25年 | 経験年数30年 | |
|-------|---------|-----------|---------|---------|---|
| 一般行政職 | 大学卒 | 250,800 円 | 円 | 円 | 円 |
| | 高校卒 | 円 | 円 | 円 | 円 |

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成28年4月1日現在）

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|--|-----|-------|----------|-----------|
| 1級 | 定型的な業務を行う主事補、主事、技師補又は技師の職務 | 5人 | 29.4% | 140,100円 | 246,100円 |
| 2級 | 1 主任の職務 2 特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う主事の職務 | 1人 | 5.9% | 190,200円 | 303,000円 |
| 3級 | 1 課長補佐又は係長の職務 2 会計管理者 | 6人 | 35.3% | 226,400円 | 348,800円 |
| 4級 | 1 課長補佐の職務または課長の職務 | 3人 | 17.6% | 259,900円 | 379,800円 |
| 5級 | 1 困難な業務を行う課長の職務 | 1人 | 5.9% | 286,200円 | 391,800円 |
| 6級 | 1 困難な業務を所掌する課長の職務 | 1人 | 5.9% | 317,000円 | 409,000円 |

- (注) 1 小菅村の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成28年度より人事評価制度を導入し、人事評価により昇給等の勤務成績に反映させる仕組みがスタートしている。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 小 菅 村 | 山 梨 県 | 国 |
|--|---|--|
| 1人当たり平均支給額（26年度） 1,243 千円 | 1人当たり平均支給額（26年度） 1,519 千円 | — |
| (26年度支給割合) 期末手当 2.6 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45) 月分 (0.70) 月分 | (26年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.40) 月分 (0.70) 月分 | (26年度支給割合) 期末手当 2.6 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45) 月分 (0.70) 月分 |
| (加算措置の状況) ・役職加算 5～15% | (加算措置の状況) ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% | (加算措置の状況) ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

平成27年度においては人事評価制度未導入であったことから、勤務成績により勤勉手当を評価しておらず、一律同評価とし勤勉手当を支給した。

(2) 退職手当（27年4月1日現在）

| 小 菅 村 | 国 |
|--|---|
| (支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 20.445月分 25.55625 月分 勤続25年 29.145月分 34.5825 月分 勤続35年 41.325月分 49.59 月分 最高限度額 49.59月分 49.59 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (割増率2～45%) 退職手当の一人あたりの平均支給額 【支給対象者無し】 | (支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 20.445月分 25.55625 月分 勤続25年 29.145月分 34.5825 月分 勤続35年 41.325月分 49.59 月分 最高限度額 49.59月分 49.59 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (割増率2～45%) |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、26年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（28年4月1日現在）

※ 本村では支給なし

(4) 特殊勤務手当（28年4月1日現在）

※ 本村では支給なし

(5) 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|----------|
| 支給実績（26年度決算） | 3,575 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（26年度決算） | 275 千円 |
| 支給実績（25年度決算） | 2,979 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（25年度決算） | 248 千円 |

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（26年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (28年4月1日現在)

| 手 当 名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (26年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (26年度決算) |
|-------|---|----------|------------|------------------|---------------------------------|
| 扶養手当 | <p>扶養親族として認定された配偶者、22歳未満の子、60歳以上の父母に支給する。</p> <p>(月額)</p> <p>① 配偶者 13,500円 ② その他2人まで6,500円 ③ 3人目以降 5,000円</p> <p>満16歳、年度初めから満22歳年度末までの間にある子一人につき5,000円加算</p> | 同 | なし | 2,166 千円 | 216,600 円 |
| 住居手当 | <p>住宅等を借り受け12,000円以上の家賃を支払っている職員に支給</p> <p>○借家等</p> <p>家賃23,000円以下 家賃 - 12,000円 家賃23,000円～55,000円 (家賃-23,000円)×1/2 +11,000円 家賃55,000円以上 27,000円 (限度額)</p> | 同 | なし | 288 千円 | 96,000 円 |
| 通勤手当 | <p>交通機関利用の場合、運賃相当額を限度額内で、自動車の場合距離数に応じて支給</p> <p>通勤距離2km以上の職員に支給</p> | 同 | なし | 195 千円 | 27,857 円 |
| 管理職手当 | <p>管理又は監督の地位にある職員に支給</p> | 同 | なし | 1,174 千円 | 293,500 円 |
| 寒冷地手当 | <p>国家公務員の寒冷地手当に準じ支給</p> <p>本村は4級地に該当</p> | 同 | なし | 440 千円 | 27,500 円 |
| 宿日直手当 | <p>勤務一回につき4,200円</p> | 同 | なし | 2,053 千円 | 120,764 円 |

5 特別職の報酬等の状況 (28年4月1日現在)

| 区 分 | | 給 料 | | 月 額 等 | |
|-----|-----------|-----------|------|---------------------|--|
| 給 料 | 市 区 町 村 長 | 500,000 円 | (円) | (参考) 類似団体における最高/最低額 | |
| | 副 市 町 村 長 | (円) | | 円 / 円 | |
| | | (円) | | 円 / 円 | |

| | | | |
|------|--------------|---|-------|
| 報酬 | 議長 | 171,000 円 (円) | 円 / 円 |
| | 副議長 | 142,000 円 (円) | 円 / 円 |
| | 議員 | 121,000 円 (円) | 円 / 円 |
| 期末手当 | 市区町村長 副市長 | (28年度支給割合) 3.9 月分 | |
| | 議長 副議長 | (28年度支給割合) 3.10 月分 | |
| 退職手当 | 村長 副村長 | (算定方式) (1期の手当額) (支給時期) 月額×率(0.42)×12月×4年 10,080,000円 任期満了時 | |
| | 備考 | | |

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

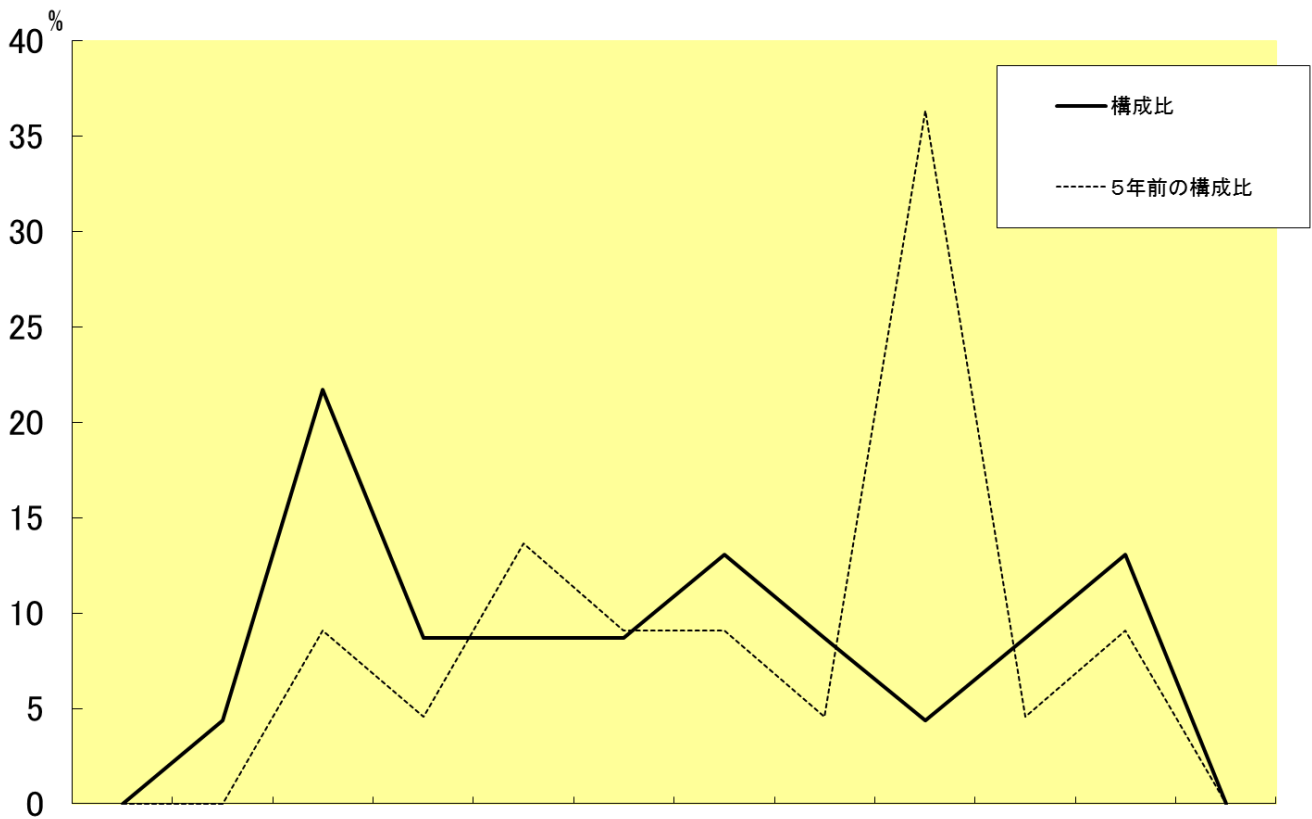
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

| 区 分 | | 職 員 数 | | 対 前 年 増 減 数 | 主 な 増 減 理 由 |
|-----------------|---|--------|--------|----------------|---|
| | | 平成27年 | 平成28年 | | |
| 普 通 会 計 部 門 | 一 般 行 政 部 門 | 0 | 0 | 0 | 企画部門と総務部門が一体となったため 欠員不補充 |
| | 議 会 総 務 企 画 税 務 労 働 農 水 林 務 商 工 土 木 民 生 保 育 衛 生 | 4 | 5 | +1 | |
| | | 1 | 0 | -1 | |
| | | 1 | 1 | 0 | |
| | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 3 | 2 | -1 | |
| | | 1 | 1 | 0 | |
| | | 1 | 1 | 0 | |
| | | 2 | 2 | 0 | |
| | | 1 | 1 | 0 | |
| | 2 | 2 | 0 | | |
| | 1 | 1 | 0 | | |
| | 計 | 17 | 16 | -1 | <参考> 人口1万人当たり職員数 219.8 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 186.43 人) |
| | 教育部門 | 2 | 2 | 0 | |
| | 消防部門 | 0 | 0 | 0 | |
| | 小 計 | 19 | 18 | -1 | <参考> 人口1万人当たり職員数 247.3 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 218.99 人) |
| 公 営 企 業 計 等 部 門 | 病 院 (診 療 所) | 2 | 2 | 0 | |
| | 水 道 | 0 | 0 | 0 | |
| | 交 通 | 0 | 0 | 0 | |
| | 下 水 道 | 0 | 0 | 0 | |
| | そ の 他 (国 保 ・ 介 護) | 3 | 3 | 0 | |
| | 小 計 | 5 | 5 | 0 | |
| | 合 計 | 24 | 23 | -1 | <参考> 人口1万人当たり職員数 315.9 人 |
| | | [42] | [42] | [42] | |

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（28年4月1日現在）



| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-----|
| 職員数 | 0人 | 1人 | 5人 | 2人 | 2人 | 2人 | 3人 | 2人 | 1人 | 2人 | 3人 | 0人 | 23人 |

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

| 部門別 \ 年度 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 過去5年間の増減数(率) |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 一般行政 | 14 | 16 | 17 | 16 | 17 | 16 | +2 (114%) |
| 教育 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | -1 (66%) |
| 消防 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 (0%) |
| 普通会計計 | 17 | 18 | 19 | 18 | 19 | 18 | +1 (105%) |
| 公営企業等会計計 | 3 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | +2 (166%) |
| 総合計 | 20 | 23 | 24 | 23 | 24 | 23 | +3 (115%) |

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。